

1. 2005年度年会について

2005年度年会は日本大学理工学部駿河台校舎において、下記のとおり行われます。

場所： 日本大学理工学部 駿河台校舎

日時： 2004年3月27日(日)より3月30日(水)まで

なお、駐車スペースが全くありませんので、車での来場はお断りします。

a) 企画特別講演について

1997年度年会より、日本数学会の理事会および学術委員会で特別プログラムを組んでいます。これは、大学院生等若い会員が学会に参加してより意義あるものにするを目的としています。具体的には、年会の第1日、第3日、第4日の3日間、13:00～14:00の1時間に企画特別講演を複数並行して行います。したがって各分科会、セッションの一般講演、特別講演の通常プログラムは午前中と午後2時以降となります。なお、第2日は従来通り総合講演を行います。

b) 講演申込について

この会で講演することを希望される会員は、会員名簿にとじこまれている講演申込書に記入してお申込下さい。その際会員番号を必ずご記入下さい。

セッション「無限可積分系」についても、講演の発表、募集は分科会と同じように公募形式を取り、アブストラクト集の作成、特別講演も分科会と同様に行われます。講演希望の方は、講演申込書の「希望分科」欄に「無限可積分系」とお書き下さい。

複数の講演を希望される場合は、題目ごとに一枚の講演申込書を用いて下さい。複数の分科会あるいはセッションにわたる場合は、その分科会名あるいはセッション名を講演申込書の備考欄にご記入下さい。また、OHPの使用を希望される方はその旨講演申込書の備考欄に朱書して下さい。

なお、大会運営上講演時間及び講演件数を制限させて頂く事もあります。また、止むを得ない事情で講演申し込み後に講演を取りやめる場合は、必ず数学会事務局か大会本部にご連絡下さい。

予稿(アブストラクト)原稿も、下記の注意に従ってご提出下さい。

講演申込先：〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

日本大学理工学部数学科

日本数学会年会委員長 上坂 洋司 宛

封筒の表面に“講演申込”と朱書のこと。

申込締切：12月6日(月) 必着で申込先に到着するようお送り下さい。

(締切後の追加申し込みは受け付けられません。)

申込件数の制限：応用数学分科会では、申込件数を1人当たり2件以内とします。

申込用紙：各題目ごとに、名簿とじこみの用紙、またはそれと同じ形式のものを用いて下さい。

予稿原稿：統計数学分科会、応用数学分科会のように、分科会によって指定のない限り、2003年度版会員名簿内の“学会アブストラクトの書式”に従って作成して下さい。数学通信第8巻3号の58ページにも同様の説明があります。

キ・ワ・ド・分類コード：函数論、応用数学、統計数学各分科会への講演申込に当っては、それぞれ次の分類コードから選んで、講演申込書の備考欄にキ・ワ・ド等を記入して下さい。

函数論分科会：1 [1変数函数論]、2 [多変数函数論]

応用数学分科会：1 [解析系応用数学]、2 [離散系応用数学]、3 [その他]

統計数学科分会：1 [確率論，確率過程論]，2 [計画数学]，
3 [確率分布，標本分布，乱数]，4 [実験計画法]，
5 [多変量解析]，6 [時系列解析]，
7 [ノンパラメトリック解析]，8 [漸近理論]，9 [応用統計]，
10 [推測理論] (3～7に含まれないもの)，11 [その他]

上の分類コードは，講演申込数の動向などに応じて改訂を検討することになっておりますので，ご意見を代表評議員（予稿原稿送付先）までお寄せ下さい。

c) 予稿集について

各分科会，セッションとも予稿原稿に従って講演予稿(アブストラクト)集を作ります。

(1) 基礎論及び歴史・代数・幾何・函数論・函数方程式論・実函数論・函数解析・トポロジ - 分科会・「無限可積分系」セッション

上述の「b) 講演申込について」の“予稿原稿”に従って作成し，講演申込書と同時に提出下さい。

(2) 統計数学科分会

統計数学科分会では予稿集の原稿締切は講演申し込みと同時になく，2005年1月31日(月)と致します。締切を過ぎて到着した原稿は予稿集に収録できないことがありますので余裕をもってお送りください。原稿には，講演申し込み書のコピーを添付し，その際，予稿のタイトルや講演者名が講演申し込み書通りであることをご確認ください。また，できるだけ連絡用電子メールアドレスもお知らせ願います。送り先は

〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学 数理工学科学研究科 数学専攻
笠原 勇二 宛 (yuji.kasahara@nifty.ne.jp)

です。書式については，前回の指定に一部混乱や誤解がありましたので，今回は学会指定の書式に統一したいと思います。慣例の変更になりますが，ご協力のほどお願いします。学会指定の書式の詳細は2003年度版会員名簿等をご参照ください。A4で提出していただき，B5に縮小して印刷します。予稿の長さは一般講演では一件2頁で，特別講演については評議員とご相談ください。

なお，今回の分科会通信に補足説明がありますので，そちらもご参照ください。

(3) 応用数学科分会

応用数学科分会（別記のように申込件数は2件までに制限）では予稿集用の原稿締切は講演申込締切と同時になく，2005年1月21日(金)と致します。送り先は

〒770-8506 徳島市南常三島町2-1
徳島大学工学部共通講座
今井 仁司 宛

です。提出された原稿は，そのまま原寸でコピー印刷しますから，所定の書式に従い黒インク（又は黒のボールペン，ワープロ）で楷書で丁寧にお書きください。書式については会員名簿の下敷きをご参照ください。長さは一件当たり4頁以内とします。

なお，講演に際してパワーポイント等の利用に必要なPCに接続するプロジェクターは使用できませんので予めご了解下さい。

d) 会合の申込について

各分科会または研究団体で，会合のために部屋の準備を必要とされる場合は，会合の名称，責任者の氏名・連絡先，使用の日時・人数，弁当の有無等を明記した書面を

下記に提出下さい。なお、期限後の申込については、会場確保が不可能となる場合もあります。

申込先：〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1 - 8 - 14
日本大学理工学部数学科
日本数学会年会実行委員長 志村 立矢 宛

封筒の表の面に“会合申込”と朱書のこと。

申込締切：12月6日(月)必着。

e) 無限可積分系

このセッションについては、日本数学会理事会の責任において行うものですが、今回の実務的な責任者は中屋敷厚氏（九州大学大学院数理学研究院）です。

f) 企画特別講演は、1996年度第3回評議員会において、了承されたものです。企画特別講演の講演者については分科会評議員、および「無限可積分系」セッション責任者からの推薦をもとに、理事会で決定いたします。なお、アブストラクトは総合講演アブストラクトとあわせて作っています。

g) 書籍等展示の申し込みについて

賛助会員で書籍等の展示を希望される場合は、申込書2枚（日本数学会理事長宛、大会委員長宛）を申込締切12月6日(月)厳守で下記（展示とりまとめ当番社）へお送り下さい。（締切後の追加申し込みはご容赦下さい。）

送り先：〒113-0034 文京区湯島 4 - 1 - 22

(株)マテマティカ

電話:03-3816-3724 FAX:03-3816-3717